

取扱説明書 補足	機種	WRX-8F3-T
[再生モードの追加] 順番再生モード2 (押しボタンによる放送 CH 選択式順番再生+スポット放送式)		
UM-WRX8F3T-A090616		

作成日	補 足 内 容
2009年6月16日	再生モード「順番再生モード2」追加による内容の追記

専用モード搭載に伴い、標準品 WRX-8F3 の取扱説明書の一部を変更します。
本補足書に記載が無い事項につきましては WRX-8F3 の取扱説明書をご参照下さい。

概要

本製品 WRX-8F3-T は下記の専用再生モードを搭載した製品です。

[専用再生モード] 順番再生モード2 (押しボタンによる放送 CH 選択式順番再生+スポット放送)

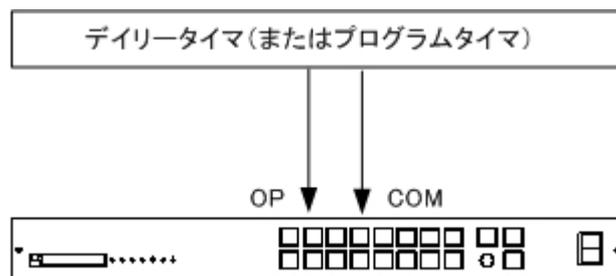
デイリータイマーやプログラムタイマ(接点出力)による指定時刻による CM 放送中、本体の押しボタン 1~16(またはリア端子台)操作でスポット CM 放送できる再生モードを搭載しています。

使用用途

デイリータイマーやプログラムタイマ(接点出力)による指定時刻による CM 放送(または日課放送)
並びに本体の押しボタン 1~16(またはリア端子台)操作でスポット CM 放送

接続

デイリータイマーやプログラムタイマの接点出力を WRX-8F3-T リアパネル端子台 OP 端子・COM と接続します。

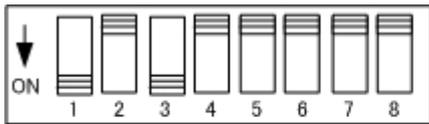


専用再生モードの設定

本体リアパネルのモードスイッチ1で再生モードを設定します。

(注)本製品は標準品 WRX-8F3 の再生モードを変更しています。

追加	5 順番再生モード2 (押しボタンによる放送 CH 選択式順番再生+スポット放送式)
削除	6 バイナリ制御モード 7 シリアル制御モード



順番再生モード2
(押しボタンによる放送CH選択式順番再生+スポット放送)

1	2	3	4	5	6	7	8
再生モード			インターバル タイマー				未使用

[再生モード内容]

STOP 入力-再生強制終了 BUSY 出力-再生中出力 (- > ON)

1	2	3	4~8	再生モード	概要
			1	接点制御-通常再生モード	ほとんどの全用途で使用できません インターバルタイマーが設定できません
				接点制御-通常再生モード (ライン・スルー機能)	【MICまたはLINEIN-CM ボタン ON時】 ライン入力をスルーで出力します。
			2	接点制御-後入力切替再生モード	設備の操作説明 音響演出
			3	接点制御-優先順位再生モード	優先度の高いCHに即切り替え再生 [優先順位]CH4 < …… < CH1
			4	接点制御-順番再生モード1(標準)	デイリータイマによるCM放送 デイリータイマによる日課放送 音響演出・作業マニュアル案内装置
			5	接点制御-MIC放送モード	【MICまたはLINEIN-CM ボタン ON時】 カード放送時、割り込みで内蔵の5Wアンプで マイク放送ができます。
			6	接点制御-順番再生モード2 (押しボタンによる放送 CH 選択式順番 再生+スポット放送)	デイリータイマによるCM放送 +手動・自動スポットCM放送 デイリータイマによる日課放送 +手動・自動スポットCM放送/緊急放送
			7	空き	
			8	空き	-

追加した再生モードの内容

再生モード	順番再生モード2 (押しボタンによる放送 CH 選択式順番再生+スポット放送)
モード概要	デリタイマーやプログラムタイマ(接点出力)による指定時刻による自動放送(または日課放送)ができます。 放送したいCHは本体の押しボタン1~16(またはリア端子台)で設定し、電源ON時に記憶します。 また、本体の押しボタン1~16(またはリア端子台)操作でスポットCM放送もできます。

外部デリタイマーによる自動放送 (押しボタンによる放送 CH 選択式順番再生)

[押しボタンによる放送 CH 選択]

放送したいCHの押しボタンをプッシュロック(ON)します。電源SW ON 本体内のメモリ(RAM)に記憶します。
電源をOFFしますとメモリクリアします。

(注)順番再生モード1と異なり、本モードはSTOP SWでは再生強制終了用でメモリクリアしません。

(例)

1. 下記 SW をプッシュロック

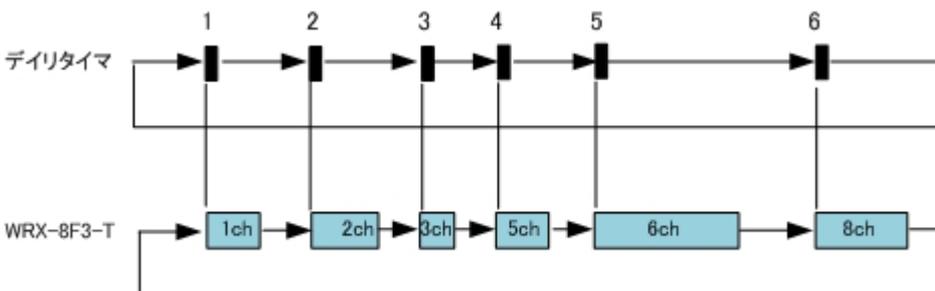
- SW1 (1CH)
- SW2 (2CH)
- SW3 (3CH)
- SW5 (5CH)
- SW6 (6CH)
- SW8 (8CH)

2. 電源スイッチ ON



[自動放送]

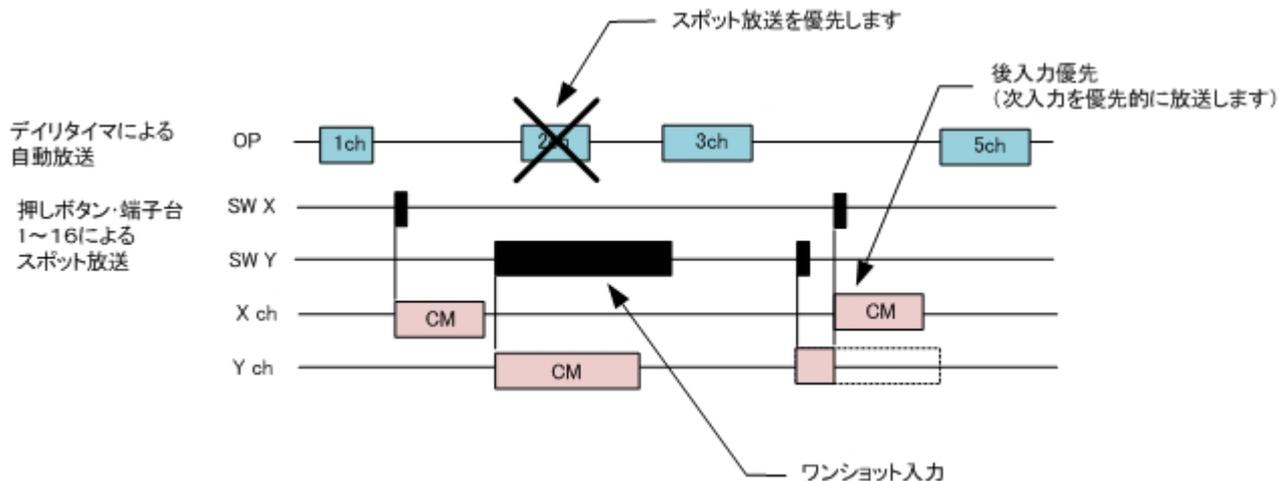
外部のデリタイマーやプログラムタイマの時刻指定の接点信号を本製品のOP端子へ入力する都度、押しボタンにより選択した放送CHをインクリメント(順番)再生する。選択した最後のCHを放送すると最初にCHに戻ります。



押しボタン(または端子台)1～16によるスポット放送

スポット放送したいCHの押しボタンをONすると1回放送します。(ワンショット入力)
 スポット放送が複数の場合、後から入力したSWのCHを放送します。(後入力切替)
 STOP SWは再生強制終了です。

(注)レベル(連続)入力しても1回しか放送しません。



[スポット放送と自動放送との優先度]

スポット放送が優先します。

外部デイレタイマによる自動放送中、スポット放送の押しボタンをONすると自動放送を強制終了し、スポット放送の押しボタンに登録したCH No.のデータを放送します。

[スポット放送中、自動放送のOP端子への入力があった場合]

自動放送しないでインクリメントします。(したがって、次の OP 端子入力の場合、次の CH を再生します)

[スポット放送の SW・信号 - ワンショット]

ワンショット - 1回再生 (注)サポートソフト VoiceNavi Editor でプログラム登録した場合、その回数レベル(連続反転信号)を入力してもワンショットで認識します。リピート再生はしません。

[スポット放送とスポット放送同士の優先度]

後入力優先。再生途中の場合、強制終了。後から入力のあったスポット放送を優先的に放送します。

(注)プッシュロックしてある自動放送CH選択のSWに関して

外部デイレタイマによる自動放送のために、放送したいCHのSWを電源ON時にプッシュロックしています。このSWはON状態ですが放送しません。スポット放送したい場合、プッシュロックをOFFし、再度ONにしますとスポット放送します。

WRX-8F3-T 用CFカードのカードデータ作成について

サポートソフト VoiceNavi Editor を使用して音声・音源データ(WAVE ファイル形式)を登録します。
作成方法はサポートソフト VoiceNavi Editor のユーザーズマニュアルをご参照下さい。

[サポートソフト VoiceNavi Editor アドレス・プログラム再生登録画面]

自動放送	スポット放送	No.	SP	R	1	2	3	4	5	6	7	8
電源 ON 時 SW1-16 ON 状態を記憶	SW1	01	1	1	****.wav							
	SW2	02	1	1	****.wav							
	SW3	03	1	1	****.wav							
	SW4	04	1	1	****.wav							
	SW5	05	1	1	****.wav							
	SW6	06	1	1	****.wav							
	SW7	07	1	1	****.wav							
	SW8	08	1	1	****.wav							
	SW9	09	1	1	****.wav							
	SW10	10	1	1	****.wav							
	SW11	11	1	1	****.wav							
	SW12	12	1	1	****.wav							
	SW13	13	1	1	****.wav							
	SW14	14	1	1	****.wav							
	SW15	15	1	1	****.wav							
	SW16	16	1	1	****.wav							

以上